埼玉経済

企業、団体、商店街などの話題や情報をお寄せください
TEL 048・795・9161　FAX 048・653・9040
✉keizai@saitama-np.co.jp

日本酒 缶で手軽に

アグナビの飲み比べセット　小川の工場で充填

アグリ・フードテック系のベンチャー企業のAgnavi（アグナビ、神奈川県）は、全国の酒蔵から厳選した複数の高品質の日本酒1合（180ミリリットル）を、アルミ缶に充填（じゅうてん）した飲み比べセットの取り扱いを始めた。参加蔵の地酒を小川町内の自社工場で充填して販売する。日本酒は瓶詰めが一般的だが、重さや保管場所の確保が課題だった。新型コロナウイルスの感染拡大を背景に〝家飲み需要〟が広がり、高品質の地酒を少量で楽しむ人も増加。日本酒の再評価を追い風に、品質維持や持ち運びやすさといった缶の利点を訴求しながら、新たな需要の掘り起こしを目指す。（小林哲伸）

同社の玄成秀社長はこれまでの日本酒について「四合瓶など瓶詰め製品が多く、冷蔵庫など保管場所を取ってしまうほか、重いのでごみ捨てが面倒と感じる人が少なくない」と課題を挙げる。また「地方でしか買えない銘酒を現地で買うにも、瓶詰めで重く敬遠する人もいる」とも指摘する。

一方で「地場でしか流通していない日本酒を少量で幅広く楽しみたいという需要も少なくない」と話す。そのため全国の地酒を少量で充填しセット販売することで、蔵の規模に依存しない地方の酒蔵の魅力を発信しようと、取り組みを始めた。

180ミリリットル缶の利点は、持ち運びしやすく、冷蔵庫など保管場所を取る心配もなく、アルミ缶のため廃棄が容易でリサイクルが可能なこと。日本酒の大敵である紫外線（UV）を完全に遮断し、新鮮な状態で運べる強みもある。

酒類の缶利用は、缶ビールが容器全体の7割以上となり、瓶ビールは少なくなった一方で、日本酒は缶利用が少ない。原因に缶の充填設備の初期投資が必要なことが挙げられる。解消へ同町内に充填工場を新設。酒蔵の缶導入のための活動費、充填工場の設備投資費はクラウドファンディングで賄う。東洋製缶が開発した「詰太郎」を採用した。

同町には北関東自動車道などとつながる関越自動車道の嵐山小川インターチェンジがあり、東日本各地への交通利便性が高く、工場の設置を決めた。半径約250キロ圏には老舗酒蔵が多い新潟県や福島県が入る。今後、知名度がある地酒が多い両県の酒蔵を積極的に呼び込むことも視野に入れた形だ。

既に神奈川県内の9蔵の地酒を扱う企画を実施。10月には全国各地の10蔵を扱う企画も開始。都内の小売店やインターネット通販などで扱われている。

松岡醸造（小川町）は10蔵の企画に参画。松岡奨専務は「コロナ禍で大容量の酒が動かず、従来にない新たな日本酒の見せ方、販売の展開を進めたかった」と参画理由を説明。また缶はUVを遮断し品質を維持でき、瓶より軽い利点を強調。「輸出だと送料などが重量ベースで発生してしまう。缶はその点が解消され海外への輸出拡大のきっかけになれる」と話す。

玄社長は「引き続きフットワークが軽いベンチャー企業と伝統ある酒蔵が連携を深め、新たな国内需要の掘り起こしや海外市場の開拓につなげていきたい」と話した。

農林水産省がまとめた「日本酒をめぐる状況」によると、日本酒の国内出荷量は、ピーク時の1973年には年間170万キロリットル以上あったが、他の酒類との競合などで減少し、2020年には42万キロリットルまで低下。国内が減少する中、20年度の輸出量は前年比13%減の2万2千キロリットルだったが、海外では量より質を重視する傾向が強まり、輸出総額は前年比3・1%増の241億円で、11年連続で過去最高を更新した。

全国各地の10蔵の地酒を180ミリリットルのアルミ缶に各々充填した飲み比べセット（Agnavi提供）

消費者物価0.5%上昇

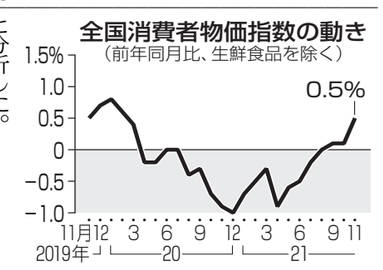
11月1年9カ月ぶり大きさ

総務省が24日発表した11月の全国消費者物価指数（2020年＝100、生鮮食品を除く）は、前年同月比0・5%上昇の100・1だった。前年実績を上回るのは3カ月連続。上げ幅は20年2月（0・6%上昇）以来、1年9カ月ぶりの大きさとなった。原油高や円安の影響で電気代やガソリンが値上がりし、全体を押し上げた。

日銀が同日発表した11月の企業向けサービス価格指数（2015年平均＝100）も前年同月比1・1%上昇の105・7となり、指数は20年1カ月ぶりの高さとなった。エネルギー価格高騰を背景に運輸・郵便サービスなどが上昇した。

消費者物価指数は前年同月に宿泊料を押し下げていた政府の観光支援事業「Go To トラベル」の影響がなくなった反動も出た。携帯電話の通信料値下げが伸び率を1・5ポイント程度押し下げているといい、総務省の担当者は「物価は安定的に上昇している」と分析した。

品目別では、エネルギーが前年同月比で15・6%上昇した。上げ幅は13年3月ぶりの大きさだった。ガソリンが27・1%、電気代が10・7%、灯油が36・2%それぞれ上がった。



11月の世界生産 前年並み82万台

トヨタ自動車が24日発表し

た11月の世界生産は、前年同月比0・8%減の82万1329台だった。東南アジアの新型コロナウイルス流行による部品調達難が和らぎ、ほぼ前年並みに戻った。前年実績を下回るのは4カ月連続。国内生産は7・9%減の27万5234台。

11月の世界販売は9・2%減の77万4143台だった。3カ月連続の前年割れとなったが、生産と同様に回復傾向を示した。軽自動車を含めた国内販売は18・5%減の11万6370台。

トヨタは世界生産が39・1%減に沈んだ9月を底に大幅減産を強いられていた。

ただ、現在も世界的な半導体不足などに直面して部品を思うようには確保できない状況で、打撃を抑え、早期に挽回できるかどうかが焦点だ。

年越しそばの予約 各店舗で受け付け

29日まで、山田うどん

各店で提供する生（なま）そばを年末恒例の年越しそばとして販売する（山田食品産業提供）

山田食品産業（所沢市）は「ファミリー食堂山田うどん食堂」で、年越しそば用「生（なま）そば」の予約販売の受け付けを各店で始めた。4月に所沢市内の店舗で提供するそばを生そばに転換。10月までに全店に拡大した。11月末時点で麺類注文の5割を占めるなど堅調な評価を追い風に、年末恒例商品の販売数の底上げを狙う。

店舗で提供するそばを年越し用に2食セット（麺つゆ、揚げ玉付き）として販売する。29日まで事前予約を受け付ける。引き渡しは30、31日の2日間。29日までに予約の場合は税込450円、30日と31日に購入する場合は同500円。

「天ぷら盛り合わせ（エビなど3種）」（同400円）、「かき揚げ天ぷら」（同190円）の注文も受け付ける。予約は各店舗で対応する。（小林哲伸）

天皇杯Vの浦和に 県産米1トンを寄贈

JAグループさいたま

浦和レッズが今年のサッカー天皇杯全日本選手権で優勝したことを受け、JAグループさいたまは23日、県産米「彩のきずな」1トンをチームに贈った。

同組合は浦和レッズのオフィシャルパートナー。地域の子どもらへの食育やサッカー指導などを共同で行っている。さいたま市浦和区で行われた贈呈式には、JA埼玉県中央会・連合会の坂本富雄会長と浦和レッズの立花洋一社長らが参加。優勝祝いと来シーズンの激励を込めて坂本会長から立花社長に目録が手渡された。

坂本会長は「これから始まるACL（アジア・チャンピオンズリーグ）に向けて彩のきずなを食べて、名前のごとくチームの絆を深めていただきたい」と激励。立花社長は「日頃のサポートのおかげで優勝を報告できた。たくさん食べてパワーを付けて今後も期待に応えたい」と意気込んだ。（吉谷篤樹）

JA埼玉県中央会・連合会の坂本富雄会長（左）と浦和レッズの立花洋一社長＝23日午後、さいたま市浦和区

京葉銀にFW提供

りそなHD

りそなホールディングス（HD）傘下のりそな銀行は24日、顧客から預かった資産を一任して運用する「ファンドラップ（FW）」のサービスを京葉銀行（千葉市）に提供すると発表した。りそなHDと京葉銀が8月に結んだ業務提携の一環で、半年以内を目途に提供を始める。

りそな銀のFWを京葉銀が代理店として扱い、顧客に提案。国内外の株や債券などに分散投資し、資産形成や資産運用を中長期的に支援する。

りそな銀がグループ外にFWサービスを提供するのは横浜銀行（横浜市）に続き二つ目。運用残高は11月末時点で7100億円を超える。（小林哲伸）

城西大学発 研究の現場から ■13■

胃の調子を整える

田中 享　薬学部薬科学科 教授

胃粘膜を構成する主な細胞は、胃酸を分泌する細胞、消化酵素であるペプシン（細胞内ではペプシノーゲン）を分泌する細胞、粘液を分泌する細胞からなり、胃酸や消化酵素は胃腺と呼ばれる、ストローのような構造の中に分泌されてから胃腔内に分泌されてきます。胃の表面は強い酸や消化酵素から身を守るために粘液で覆われています。これら細胞群の中にホルモンを分泌する細胞やヒスタミンを分泌する細胞も存在しています。皆さんはこれまでに胃が痛い、胸焼けする、胃がもたれる、何か胃の調子が…などと不快な思いをしたことはありませんか。胃の調子が悪いと食欲もなくなりますよね。私は幼い頃から胃痛・胸焼けをたびたび起こし、父親が飲んでいたまずい薬を飲まされていました。幼い頃の経験が胃の研究をする一端になったことは間違いありません。

これまでに、ラットの単離胃粘膜細胞の培養法を確立し、神経伝達物質やホルモン、プロスタグランジンなどのさまざまな生理活性物質によるペプシノーゲン分泌や胃粘液分泌の機構を明らかにしてきました。現在、アミノ酸の一種であるプロリンを含む短鎖ペプチドの抗潰瘍効果を研究しています。はたしてどのように作用して胃潰瘍を抑え、修復するのでしょう。胃酸の分泌や消化酵素の分泌を抑えるのでしょうか。抑えるならばどのような作用機序でしょうか。さまざまな検討が必要です。私の研究室には顕微鏡で細胞内のカルシウムイオン濃度変化を観察するシステムがあります。細胞内のカルシウムイオン濃度が高くなると、その細胞は興奮状態になり、細胞の持つ機能が高まります。これらペプチドが細胞内のカルシウムイオン濃度上昇を制御し、胃酸の分泌や消化酵素の分泌を抑えるのかもしれません。

皆さんはヘリコバクター・ピロリ菌をご存じでしょうか。ピロリ菌が胃炎や胃潰瘍の原因菌であることをオーストラリアのマーシャル医師が見つけ検査によって菌の感染が確認された方には除菌が推奨されています。その除菌も完璧ではなく、耐性菌も出現してきています。現代でこそピロリ菌の保菌者は減ってきていますが、昔から日本人の保菌率は高かったといわれています。大昔は胃の調子の悪い人が多かったのではないでしょうか。日本の薬学を振り返ってみると、健胃薬といわれる生薬が沢山あることに気付きます。これまでにもさまざまな生薬成分がピロリ菌に効くと報告されていますが、生薬の中にはまだたくさんの有効成分が存在していると考えています。私の研究室では天然物化学研究室と共同研究することで、ピロリ菌に効く成分を探索し、除菌の手助けになる成分を見つけたいと思っています。

胃の調子を整え、健やかな生活を送ることができるような薬の開発を目指して基礎研究を積み重ねています。

たなか・とおる　1965年 生まれ。城西大学薬学部卒 博士前期課程修了。博士（薬学）。城西大学薬学部助手、助教、准教授を経て2020年より現職。専門は薬理学

TOKYO MARKET REPORT

●株　式

◆東証4日ぶり反落、15円安 利益確定売り膨らむ　24日の東京株式市場の日経平均株価（225種）は4営業日ぶりに反落した。終値は前日比15円78銭安の2万8782円50銭。年末で市場参加者が少なく薄商いで、目立った売買材料も乏しい中、当面の利益を確定する売り注文が膨らんだ。

東京証券取引所第1部の売買代金は約1兆6165億円。活況の目安となる2兆円を大幅に下回り、2020年12月25日以来、約1年ぶりの低水準だった。出来高は約7億4600万株。

午前は、新型コロナウイルスの新変異株「オミクロン株」への警戒感が和らいだことで、平均株価はプラス圏で推移した。午後に入ると買いを支える材料はなく、平均株価が前日まで3営業日連続で上昇した反動から、利益確定の売りに押されて下げに転じた。

東証株価指数（TOPIX）は2.65ポイント安の1986.78。

東京市場（24日）

◆円相場（午後5時）銀行間
対ドル　114.34 −114.38円（0.09円安）
対ユーロ　129.57 −129.61円（0.14円安）

◆株式（終値）
日経平均　2万8782.59円（15.78円安）
TOPIX　1986.78（2.65ポイント安）

◆長期金利（新発10年国債）　0.060%（変わらず）

◆短期金利（無担保コール翌日物）　−0.023%

●外　為

◆東京円、114円台前半　24日の東京外国為替市場の円相場は1ドル＝114円台前半で取引された。

午後5時現在は前日比09銭円安ドル高の1ドル＝114円34〜38銭。ユーロは14銭円安ユーロ高の1ユーロ＝129円57〜61銭。

前日に米長期金利が上昇したことを受け、日米の金利差拡大を見据えた円売りドル買いが優勢となった。

市場では「クリスマスシーズンで市場参加者が減っており、目立った取引材料も少なく値動きは限定的だった」（外為ブローカー）との声があった。

かぶと町だより

▽豊田通商が高い。インドネシアの国際港での自動車ターミナル運営事業に参入すると前日に発表したことが買い材料になった。事業を暫定的に担っていた国営企業から引き継ぐ。円滑な運営で同国からの車の輸出力向上を目指すという。ネット証券関係者は「高い経済成長が期待できる国におけるビジネスの拡大で、素直に好感できる」と話した。

◆金貨売買相場◆

	出来値	前日比
メイプル（1オンス）		
小売価格	2429 58円	△1161
買取価格	2208 25円	△1071
ウイーン（1／10オンス）		
小売価格	2624 24円	△125
買取価格	2192 1円	△107

生花（㈱埼玉園芸市場調べ）

	高値	中値
白　大　菊	125	75
黄　大　菊	88	65
スプレイ菊	88	55
小　菊	55	40
赤カーネーション	70	40
ピンクカーネーション	70	45
スプレイカーネーション	75	50
赤バラ	270	150
ピンクバラ	200	120
白バラ	150	100
スプレイバラ	250	—
テッポウユリ	150	120
スカシユリ	140	90
オリエンタル系ユリ	720	250
カトレア	450	350
デンファレ	100	80
シンビジューム	850	500
トルコ桔梗	320	180
サンダーソニア	—	—
グラジオラス	—	—
カ　ラ　ー	150	130
アルストロ	200	140
スターチス	100	70
スターチスＨＢ	—	—
ガーベラ	140	65
デルフィニウム	120	100
グロリオサ	200	170
宿根カスミソウ	220	150
ソリダコ・ソリダスター	—	—

鶏卵（1キロ＝円）

【全農】

		高値	安値
	LL	229	203
	L	230	204
	M	230	204
もちあい	MS	225	199
	S	199	173
	SS	149	123

【入間】

		高値	安値
		280	

【東洋】

		高値	安値
	LL	229	202
	L	229	201
	M	229	201
もちあい	MS	226	198
	S	199	173
	SS	148	122
	特殊	233	91

枝肉【東京】急落（1キロ＝円）

和牛	メス	去勢	メス	交雑種	去勢
A5	3800	A5 2754	A5	—	A5 —
A4	2317	A4 2372	A4	1653	A4 1730
A3	2038	A3 2246	A3	1459	A3 1679
A2	—	A2 —	A2	—	A2 —
A1	—	A1 —	A1	—	A1 —
B5	3038	B5 2678	B5	—	B5 —
B4	2314	B4 —	B4	1505	B4 1533
B3	—	B3 1947	B3	1350	B3 1506
B2	—	B2 —	B2	1255	B2 1250
B1	—	B1 —	B1	—	B1 —

豚		高値	安値	加重平均
	極上	755	606	642
	上	756	529	570
	中	752	512	553
	並	740	335	545
	等外	694	346	417
		牛	豚	
上場頭数		273頭	1017頭	

【さいたま】急反落

（単位キロ当たり）		高値	安値	加重平均
豚	極上	594	594	594
	上	620	535	553
	中	611	475	544
	並	584	292	429
	等外	541	184	382

牛		豚	牛	馬
上場頭数		259	—	—
処理頭数			—	—
預り頭数			—	—

【川口】受信なし

豚		高値	安値	加重平均	処理頭数
	極上	—	—	—	—
	上	—	—	—	—
	中	—	—	—	—
	並	—	—	—	—
	等外	—	—	—	—
上場		—	処理		—

果物

◇果物◇	高値	中値
ミカン（佐・10キロ）	3240	—
（静・8キロ）	4860	3780
（熊・8キロ）	2808	—
早生ミカン（静・8キロ）	—	—
（和・10キロ）	—	—
（熊・8キロ）	—	—
ポンカン（大分・5キロ）	—	—
伊予カン（佐・10キロ）	—	—
キンカン（宮崎・0.25キロ）	238	216
リンゴ（青・10キロジョナG）	5400	—
（青・10キロ紅玉）	5940	—
（青・10キロふじ）	10800	—
（青・10キロむつ）	10800	—
（青・10キロ王林）	—	—
ナシ（形・5キロラフランス）	—	—
カキ（福岡・10キロ富有）	5184	—
ブドウ（長野・5キロシャイン）	—	—
イチゴ（栃・0.28キロとちおとめ）	702	540
（福岡・0.27キロあまおう）	810	—
（佐・0.24キロいちごさん）	702	—
メロン（千・1キロアールス）	1620	1296
（静・1キロアールス）	5400	2160
（熊・5キロアンデス）	—	—
スイカ（熊・15キロ大玉）	—	—
キウイ（愛・3.6キロ）	—	—
キレ柿（茨・0.16キロあんぽ）	378	—
（長野・0.17キロ市田）	464	—

川口青果市場つま物市況（川口中央青果市場調べ）

	高値	中値
キノメ（埼・1箱）	540	—
ぼうふう（埼・1束）	—	—
アサツキ（埼・1箱）	—	—
わけねぎ（埼・30束）	3240	—
メカブ（埼・1箱）	—	—
ヤツガシラ（埼・10キロ）	3780	2808

商況

東京市況（大田／東一調べ）＝単位：円

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（千・10キロ）	864	864
ニンジン（千・10キロ）	1728	1188
ゴボウ（青・4キロ）	—	2376
レンコン（茨・4キロ）	3456	3024
ハクサイ（茨・15キロ）	—	—
キャベツ（千・10キロ）	756	—
ホウレン草（群・0.2キロ）	130	119
ネギ（千・5キロ）	2592	2376
セロリ（静・10キロ）	3024	1080
レタス（兵庫・10キロ）	3780	3564
キュウリ（埼・5キロ）	2484	2160
ナス（高・5キロ）	2700	2376
トマト（熊本・4キロ）	1944	—
ピーマン（茨・0.15キロ）	86	54
サヤエンドウ（鹿・2キロ）	—	3780
サツマイモ（千・5キロ）	2160	1404
ジャガイモ（北・10キロ）	3024	2592
サトイモ（埼・10キロ）	4104	3780
ナガイモ（青・10キロ）	3672	3564
タマネギ（北・20キロ）	4752	4104
生シイタケ（岩・0.1キロ）	130	—
エノキタケ（長野・0.1キロ）	59	38
カブ（千・1キロ）	140	108
ミズナ（茨・0.2キロ）	76	54
コマツナ（埼・0.5キロ）	162	—
小ネギ（福岡・0.1キロ）	140	119
シュンギク（千・0.15キロ）	205	162
ニラ（栃・0.1キロ）	130	—
カリフラワー（福岡・8キロ）	—	2916
ブロッコリー（愛知・8キロ）	2527	2333
ミニトマト（熊本・3キロ）	2592	1728
ニンニク（青・1キロ）	2592	1944
根ショウガ（高・4キロ）	3672	—
ナメコ（福島・0.1キロ）	54	16
シメジ（長野・0.1キロ）	—	54
マイタケ（新潟・0.1キロ）	108	54

浦和市況（浦和中央青果市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ピーマン（茨・4キロ）	—	1296
トマト（熊・4キロ）	—	2592
ネギ（埼・5キロ）	—	1512
ナス（高・5キロ）	—	2376
キャベツ（千・10キロ）	—	648
タマネギ（北・20キロ）	—	4644
パレイショ（北・10キロ）	—	2700
カブ（千・1キロ）	—	119
ニンジン（千・10キロ）	—	1080
レタス（茨・10キロ）	1620	—
ホウレン草（埼・0.3キロ）	108	—
ニラ（茨・0.1キロ）	86	—
コマツナ（埼・0.2キロ）	65	—
チンゲンサイ（茨・2キロ）	756	—
カンショ（茨・5キロ）	1836	—
生シイタケ（島・0.1キロ）	162	130
エノキタケ（新潟・0.2キロ）	65	54
シメジ（長野・0.1キロ）	76	—
キュウリ（埼・5キロ）	—	1620
ハクサイ（長野・15キロ）	735	—
◇果実◇		
リンゴ（青・10キロサンふじ）	—	5400
ミカン（媛・10キロ）	—	3564
メロン（熊・5キロアンデス）	4320	—
パナナ（フィリピン・13キロ）	3672	—

熊谷市況（熊谷青果市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（神・10キロ）	—	864
ニンジン（埼・10キロ）	1620	1404
ゴボウ（青・4キロ）	—	—
ハクサイ（茨・15キロ）	756	—
ミズナ（埼・0.2キロ）	—	108
キャベツ（神・10キロ）	972	756
ホウレン草（埼・0.2キロ）	130	—
ネギ（埼・5キロ）	—	2160
ニラ（栃・0.1キロ）	—	130
レタス（熊・10キロ）	3780	—
キュウリ（宮崎・5キロ）	2700	1944
ナス（高・0.4キロ）	173	—
トマト（熊・4キロ）	—	—
ピーマン（宮崎・0.15キロ）	—	54
カンショ（茨・5キロ）	1728	1620
パレイショ（北・10キロ）	—	2700
サトイモ（埼・10キロ）	5940	4860
タマネギ（北・20キロ）	—	4644
生シイタケ（各地・0.1キロ）	184	162
エノキタケ（各地・0.2キロ）	76	65
◇果実◇		
ミカン（和・10キロ）	—	3240
リンゴ（長野・10キロサンふじ）	—	5940
イチゴ（栃・0.3キロとちおとめ）	756	648
パナナ（フィリピン・13キロ）	—	2700

上尾市況（埼玉中央青果市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（神・10キロ）	1080	—
ニンジン（埼・10キロ）	1620	—
ゴボウ（青・4キロ）	1080	—
ネギ（埼・5キロ）	2052	—
ニラ（栃・0.1キロ）	130	—
キュウリ（埼・5キロ）	3024	—
ナス（高・5キロ）	2592	—
トマト（愛知・4キロ）	2160	—
ピーマン（茨・0.15キロ）	86	—
カンショ（茨・5キロ）	2160	—
ヤマトイモ（千・4キロ）	2700	—
パレイショ（北・10キロ）	2700	—
タマネギ（北・20キロ）	4644	4320
生シイタケ（埼・0.1キロ）	162	—
エノキタケ（長野・0.1キロ）	54	—
レタス（静・10キロ）	3780	—
コマツナ（埼・0.3キロ）	—	—
ホウレン草（群・0.3キロ）	—	—
ハクサイ（茨・15キロ）	648	—
ミズナ（茨・0.2キロ）	—	—
◇果実◇		
メロン（静・8キロアールス）	—	—
リンゴ（青・10キロふじ）	—	—
バナナ（フィリピン・12キロ）	—	—
グレープF（アメリカ・17キロ）	—	—

大宮市況（大宮中央青果市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（千・10キロ）	—	864
カブ（埼・1キロ）	—	113
レンコン（茨・4キロ）	—	3024
ハクサイ（茨・13キロ）	—	432
コマツナ（埼・0.2キロ）	—	81
キャベツ（千・10キロ）	—	756
ホウレン草（群・0.2キロ）	—	140
ネギ（埼・5キロ）	—	2160
ニラ（茨・4キロ）	—	3888
チンゲンサイ（群・3キロ）	—	918
キュウリ（埼・5キロ）	—	2160
トマト（熊・4キロ）	—	—
ピーマン（宮崎・4キロ）	—	—
パレイショ（北・10キロ）	—	2700
タマネギ（北・20キロ）	—	4644
生シイタケ（秋・0.1キロ）	—	173
ナメコ（形・0.1キロ）	—	59
エノキタケ（長野・0.2キロ）	—	59
シメジ（長野・0.1キロ）	—	54
マイタケ（新潟・0.1キロ）	—	—
◇果実◇		
早生ミカン（長崎・10キロ）	—	—
グレープF（アメリカ・17キロ）	6480	—
キンカン（宮崎・0.3キロ）	—	—
パナナ（フィリピン・13キロ）	—	3780

春日部市況（さいたま春日部市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（神・10キロ）	—	756
カブ（千・0.8キロ）	—	—
ニンジン（千・10キロ）	1944	1512
レンコン（茨・4キロ）	3240	2916
ハクサイ（茨・13キロ）	—	216
コマツナ（埼・0.2キロ）	108	—
キャベツ（茨・10キロ）	864	—
ホウレン草（埼・0.2キロ）	162	—
ネギ（群・5キロ）	1944	1836
シュンギク（埼・0.15キロ）	270	—
ニラ（茨・0.1キロ）	—	—
ブロッコリー（埼・8キロ）	2592	—
キュウリ（埼・5キロ）	2160	—
ナス（高・5キロ）	2376	—
トマト（熊・4キロ）	1944	—
ピーマン（宮崎・0.13キロ）	59	—
サツマイモ（茨・5キロ）	—	1296
パレイショ（北・10キロ）	2700	—
タマネギ（北・20キロ）	4860	—
エノキタケ（長野・0.2キロ）	59	—
◇果実◇		
ミカン（静・10キロ）	3024	2700
イチゴ（栃・0.28キロとちおとめ）	702	—
リンゴ（青・10キロサンふじ）	6264	5400
バナナ（フィリピン・13キロ）	2700	—

川口市況（川口中央青果市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（千・10キロ）	—	756
カブ（千・0.8キロ）	—	140
ニンジン（千・10キロ）	—	1620
ハクサイ（茨・12キロ）	648	540
コマツナ（埼・0.6キロ）	—	129
ネギ（各地・5キロ）	—	1296
キャベツ（愛知・10キロ）	864	756
ニラ（各地・0.1キロ）	—	118
ホウレン草（埼・0.35キロ）	—	86
レタス（各地・8キロ）	3780	2700
ピーマン（各地・0.15キロ）	—	75
キュウリ（埼・5キロ）	—	1944
ナス（高・0.35キロ）	—	216
トマト（熊・4キロ）	—	1620
ブロッコリー（各地・4キロ）	—	1404
カンショ（千・5キロ）	—	2160
タマネギ（北・20キロ）	—	4968
パレイショ（北・10キロ）	—	2700
エノキタケ（各地・0.2キロ）	—	65
生シイタケ（各地・0.1キロ）	172	140
◇果実◇		
ミカン（和・10キロ）	3024	2160
リンゴ（各地・10キロふじ）	4968	3456
イチゴ（各地・0.28キロよいひめ）	810	756
バナナ（フィリピン・12キロ）	3996	3024

川越市況（東京新宿青果川越調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（神・10キロ）	—	—
ニンジン（各地・10キロ）	1296	1080
ハクサイ（茨・13キロ）	540	—
キャベツ（各地・10キロ）	810	—
コマツナ（埼・0.3キロ）	97	59
ホウレン草（埼・0.3キロ）	108	97
ネギ（各地・5キロ）	2268	1296
ブロッコリー（各地・4キロ）	1620	1350
レタス（各地・10キロ）	—	2916
チンゲンサイ（各地・0.2キロ）	—	76
キュウリ（各地・5キロ）	2376	1944
ナス（高・5キロ）	2700	2376
トマト（各地・4キロ）	1944	1728
ピーマン（各地・0.15キロ）	76	56
パレイショ（北・10キロ）	3456	2592
サトイモ（埼・10キロ）	3240	2106
タマネギ（北・20キロ）	4644	4536
生シイタケ（各地・0.1キロ）	184	—
◇果実◇		
ミカン（各地・10キロ）	4644	3456
リンゴ（各地・10キロサンふじ）	5400	—
ナシ（埼・5キロ）	—	—
イチゴ（埼・0.28キロとちおとめ）	810	756
バナナ（フィリピン・13キロ）	3780	2970
キウイ（各地・3.5キロ）	—	2160

秩父市況（秩父総合食品卸売市場調べ）

◇野菜◇	高値	中値
ダイコン（千・10キロ）	1296	—
ニンジン（埼・10キロ）	—	—
ゴボウ（青・4キロ）	—	—
レンコン（茨・4キロ）	3240	—
ハクサイ（茨・15キロ）	1080	—
キャベツ（愛知・10キロ）	—	—
ホウレン草（群・0.2キロ）	140	—
ネギ（形・5キロ）	—	—
レタス（茨・10キロ）	—	—
チンゲンサイ（静・2キロ）	97	—
キュウリ（宮崎・5キロ）	—	—
ナス（高・0.4キロ）	248	—
トマト（熊・4キロ）	—	—
ピーマン（茨・0.15キロ）	97	—
カンショ（千・5キロ）	—	—
パレイショ（北・10キロ）	3132	—
タマネギ（北・20キロ）	—	—
生シイタケ（各地・0.1キロ）	130	—
エノキタケ（長野・0.2キロ）	—	—
◇果実◇		
ミカン（和・10キロ）	3564	—
リンゴ（青・10キロサンふじ）	5184	—
イチゴ（埼・0.3キロとちおとめ）	810	648
バナナ（フィリピン・13キロ）	2912	—
パイナップル（フィリピン・12キロ）	2912	—